

予算決算委員会

議案第1号 平成29年度鈴鹿市一般会計予算

総務分科会

ふるさと納税の推進

(概要) すずか応援寄附金推進費として、1億2,000万円の予算が計上されました。これはふるさと納税に対する「興味・理解・機会」につ

ながる取り組みを推進するもので、地域資源の発信、PRにつなげていくものです。



Q. 総務省によるふるさと納税の過熱競争に対する規制を考慮した予算となっているか。

A. 総務省からふるさと納税の競争過熱に関する通知も届いており、是正を受けない範囲で事業に取り組みます。寄附金の6割で運営経費を賄えるよう予算編成しています。大都市圏からの寄附が多いため、平成29年度のふるさと納税拡充に向けた取り組みを推進するに当たっては、十分問題意識を持って取り組んでいきます。

文教環境分科会

ごみ焼却による電力売電

(概要) 電力売払収入として、1億5,413万7千円の歳入予算が計上されました。

この事業は、バイオマスなどのごみ発電による電力を中部電力に売却するものであり、年間の発電量は10,000メガワットになります。内訳

としては、バイオマス分が60%、その他の発電分が40%となっています。

また、売電単価は、バイオマス分が17円(税別)であり、その他の発電分が10.18円(税別)となっています。



Q. ごみ発電に使われる焼却物は何か。また、売電単価は一定なのか。

A. バイオマス分としては生ごみや木くずなどです。その他の発電分としては、有機物以外のビニール系や汚れたプラスチックなどです。

また、バイオマス発電による売電単価は、平成25年2月より122カ月間一定となる契約を結んでいます。